

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三

# JR東労組

# 本部OB会

# ニュース

No.242 2017年5月発行

## 本部OB会結成20周年記念・第21回定期総会

# 関係者ら集い盛大に祝う!

### = これからの10年、第1歩を記す方針決定 =



桜の花びらで飾った20周年記念総会の看板

### 特別講演

つつじが咲き始めた4月20日、新装となった8階建ての「目黒さつきビル」会議室で、本部OB会結成20周年記念と銘打った「JR東労組OB会第21回定期総会」が開催され、大勢の関係者が集まって盛大に開催されました。

総会には本部OB会役員、委員、地本OB担当者の外に、日本退職者連合の阿部会長を始め、韓国ソウル地下鉄労組の「退職者の会結成準備委員会」の代表や、歴代の本部OB会役員ら国内外から130名が集まりました。

総会では本部OB会結成以後の20年間の活動の成果を確認し、これからの10年先を展望した活動方針を満場一致で決定しました。

総会後は、招待された関係者や本部OB会の歴代役員を交えたレセプションが開催され、本部OB会結成20周年を祝いました。

定期総会に先立ち、まず12時より全OB会員の応援も空しく再選ならなかった「田城前参議院議員」より御礼の挨拶があった後、JR東労組の吉川中央執行委員長より約50分間に亘って「特別講演」がありました。

吉川委員長は、17春闘で「格差べア」に終止符を打つために実施した全組合員による「スト権を確立する意思確認の一票投票」を高批准で確認した事を背景にして、「今年は一律べアを実施する」回答を回答指定日に引き出した組合の成果が報告されました。そしてJR東労組結成30年の今年、「国鉄改革」の検証運動を精力的に行う事を表明しました。

### 定期総会

本部OB会結成20周年の定期総会は13時10分に始まり、議長に難波委員(横浜)を選出し、古川本部OB会長のあいさつの後、来賓として参加された日本退職者連合の阿部会長と韓国ソウル地下鉄労組の朴さんから、お祝いとお励みのお言葉をいただきました。

この定期総会には、JR東労組本部三役や元委員長、歴代OB担当中執、本部OB会歴代三役など「本部OB

会」に関わってくれた大勢の方々が増えました。また日頃からお世話になっているJR総連OB連絡会、9条連、鉄道ファミリア、自然と人間社、マチダ印刷などの友誼団体の代表もお祝いに駆けつけていただきました。従って会場は例年の総会より多い130名の人達で溢れ返りました。

定期総会では東北、上信越、東関東、西関東のブロック代表から、「現職の書記長と一緒にエルダー組合員が働いている職場廻りを行った」等地方での取り組みの報告がありました。

その後予定通り「経過報告」、「会計報告」、「会計監査報告」を承認し、今年度の新たな活動方針と予算を満場一致で決定しました。特に今年度の活動方針は6年後から10年間退職者がいなくなり「OB会の組織減少と超高齢化時代」を向かえる事から、当面エルダー組合員のOB会全員加入をもちとり、OB会員が集まりやすい「支部OB会組織の強化と活動の活性化」に重点を置きながら、色々な退職者組織との交流を深める内容になっています。

その後定期総会は昨年各地方で行われた情報の表彰があり、12機関の情報紙に金一封が贈られました。

今年度の役員体制は、事務局体制を強化するために、事務局次長を新たに1名加えた新体制になりました。

総会の最後は「戦前回帰を策し、競争政策を進める安倍政権に付和雷同することなく、時代の色に染まらないOB会運動を進める」という総会宣言を採択して、大勢の来賓や招待者の見守る中で終了しました。

# 記念しセブジョン

1997年6月に結成された本部OB会の20周年を祝うレセブジョンには、吉川委員長を始め中央本部三役や元委員長石川、千葉両氏、そしてかつての本部OB会の三役を歴任された先輩など、お世話になった人や懐かしい人達を招いて



乾杯する飯塚初代会長(左から古川さん大熊さん飯塚さん小澤さん)

開催されました。また韓国の4名の仲間や来賓として参加した友誼団体の代表も参加しました。

レセブジョンは、会場の中央壇上に飯塚初代会長を中心にして、2代目会長の小澤さん、3代目会長の飯塚さん(現顧問)と古川会長の歴代会長が勢揃いし、飯塚初代会長の音頭による乾杯で始まりました。

会場内に用意されたテーブルの上には料理が並べられ、その周りには懐かしい人達のグループの輪ができ、酒を酌み交わしながら談笑したり、近況を報告しあつて盛り上がりしました。

この席上で本部OB会結成20周年を記念して作られた「桃太郎旗」が、古川会長から各地本部OB会の代表へ手渡されました。

会場の入り口では「辺野古新基地建設」に反対している沖縄県民を支援するカンパ活動も行われました。

この日の定期総会に参加された皆さんには、記念タオルと、本部OB会ニュースに掲載されている「わが町の有名人」も配られました。

## わが町の有名人

OB会 今月の有名人は、八戸支部サッカー部の監督盛岡地本OB会をして加賀

第一さんです。

加賀さんは、現役時代は八戸機関区で機関士として働きながら、八戸支部サッカー部の監督をして若手教育をしてきました。

当時のサッカー部は経験者も少なく素人同然の集まりでしたが、それでも市内リーグに参加して、勝ったり負けたりして楽しんでい

## 2017年度新役員体制

顧問	大熊 勝明 (東京)
会長	古川 建三 (仙台)
副会長	佐々木源幸 (盛岡)
事務局長	廣瀬 隆之 (東京)
事務次長	難波 和正 (横浜)
事務局長	渡部 良司 (新潟)
事務局次長	伊藤 義男 (東京)
書記	本田 祥章 (八王子)
監査	川崎 昭雄 (東京)
会計	植松 健 (八王子)
庶務	田崎 行夫 (大宮)
庶務	大塚 信一 (本部)
庶務	扇谷 健七 (千葉)
庶務	森 泰克 (大宮)
庶務	鈴木 佳織 (本部)

一年間よろしくお願ひします

## 人気の監督は80番

背番号も65、70、75と変え、今では「80歳までがんばるぞ」との意気込みで80番にしています。

また地域では、連合三八地域退職者連合の幹事・事務局長を5期務め、



若い組合員が「体に気をつけて」と気遣うと、「仲間から原動力を貰い今」と返す粋な加賀 第一さんでした。

(青森県八戸市在住・加賀第一・74歳)

# 今年も雨、各地で桜の花見

## 横浜

4月1日12時より地本OB会と地本エルター会との合同で、恒例の花見を地本事務所で開催しました。当初は景色の良い柏尾川の河原で開く予定でしたが、あいにくの雨のため会場を変えて開催しました。そのため参加人数も50数名になりました。

花見には来賓として地本、本部OB会、貨物労組OB会の代表と岡田鎌倉市議が参加しました。

会場となった地本会議室では、満開の桜こそ見られませんが、役員手作りの料理が振る舞われ、久し振りに逢う元気な仲間達との再会に、宴は大いに盛り上がりしました。

## 大宮

4月1日埼玉地方もこの日は朝からの雨模様で、花見の名所である大宮公園から大宮総合車両センターに会場を移して花見を開催しました。参加者はさいたま新都心駅に集合し、一駅歩いて変更になった大宮総合車両センターに向かいました。

この日の花見は地本エルター会との共同で開催され、約110名のOB会員やシニア組合員が参加しました。

来賓には地本や本部OB会の代表と、鉄道ファミリーで働いている美世志会の八ッ田さんも「元職の先輩に逢える」と張り切つて参加しました。

毎年大宮の花見は大勢のOB会員が集まる事で有名で、この日も雨模様にもかかわらず多くの人が参加しました。

## 東京

今年も桜の開花が早かった東京も、その後の天候不順で満開時期が遅れ、4月に入つて第一週が見頃となりました。

4月8日朝方からの雨も昼頃には上がり、予定通り13時より花見の名所の王子飛鳥山公園で、130名のOB会員、シニア組合員が集まって盛大に開催しました。

主催者の地本OB会、地本シニア会、来賓の地本役員挨拶の後、地本OB会長の乾杯で宴会は始まりました。

満開の桜の下で車座になって飲む酒は格別で、OB予備軍のシニア組合員との親睦を深めた一日となりました。

## 水戸

4月9日の日曜日、水戸地本OB会では第3回目の花見を開催しました。

会場は前日の雨の為予定していた桜川河畔の北見児童公園を変更して、地本会議室での開催となりました。花見には昨年より少し多い32名のOB会員が集まり、カレンダーの満開の桜を見ながらの宴会となりました。

花見には長年地本OB会長としてお世話になった郡司、鈴木両顧問も元気な顔を見せ、参加者を喜ばせました。また福島第一原発事故後活動を中止していた原ノ町支部OB会も昨年夏に活動を再開させ、今回自動車で代表も参加し、久し振りの賑わいとなりました。